



東小つうしん



五葉の銀杏に日輪

— 学校・家庭・地域 みんなで育む「東っ子」 —

自分たちの手で「よりよい東小」にする



校長 小樋山 寿幸

先日、放送委員会の6年生2人が校長室へ来室し、「昼の放送」について相談していききました。「どのような昼の放送が、学校の『音環境』としてふさわしいか」について話をしました。その後、二人はタブレットを手に再来室し、自分たちの「考え」をプレゼンしてくれました。昼の放送として食事をする場面にふさわしい、納得できる内容でした。(写真下)

後日、選んだ楽曲を流す時間を「黙食チャレンジ」とし、火・木曜日に実施することとなりました。今後、昼の放送を含め、放送委員会のみなさんが、どのようにして学校の「音環境」が整えられていくのか、楽しみでなりません。

放送アイデア

- 新しい曲を流す
 - 黙食の時間を作る
- 落ち着くような曲をかける。チャレンジDAYを決める。3分→5分と、どんどん時間を増やす。
- 12時30分から35分は黙食をする（5分の場合）
- その時間は、30分から始まる給食委員会の放送をよく聞く
- 放送しながら音楽をかける（小音量）
 - リクエスト曲をかける
 - みんなから小話（推しについてや、最近のことなど）をリクエスト曲の前に流したりする。

また、6年生で自習監督をする機会があり、その際、「来年の50周年に向け、学校のマスコットキャラクターづくりをしてみませんか」と呼びかけました。そうしたところ、3人の子どもたちがその声に応じてくれ、「マスコットキャラクター」を描いてくれました。描いてくれたマスコットキャラクターは2階廊下に掲示しています。(写真下)



この後、運営委員会のみなさんが、マスコットキャラクターをどのようにするかを話し合い、提案してくれる予定と聞いております。これも、楽しみの一つです。

このように、子どもたちが、学校に関わることを主体的に考え、取り組む創造的な活動が、子どもの東小の一員としての自覚を強くさせます。さらには学校をアップデートさせていくことにつながっていくのだと考えています。つまり、「一人一人が学校の主役となって、学校をよりよくしていく」のです。

私たち教員の役割は、教育的な価値や配慮を踏まえて、環境を整え、子どもたちの主体的な取組ができるようサポートしていくこと（子どもたちへ方向性を示したり、問題を共有し、一緒に解決方法を考えたり、新たなものを一緒に創ったり、活動を見守ったりするなど。）です。一人一人の知恵が、学校をよりよくすることができるということを実感させていきたいものです。